

次世代光を開発  
電線各社も参画  
産総研  
産業技術総合研究所  
(産総研)は16日、光  
スイッチを駆使するこ

とて光信号を電気交換せず光のまま交換し、超大容量・超低消費電力・超低遅延を実現する情報通信ネットワークシステムを開発したと発表した。今回はディスプレイゲージョン方式を採用して、次世代光通信ネットワークシステムの標準化を目指す。今後については、8K映像やビッグデータなどのサービス、高品質低遅延で安価に提供することが可能になるとしている。

今回の開発は、文部科学省の先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム「光ネットワーク超低エネルギー化技術拠点」プロジェクトによる成果。このプロジェクトには、産総研を中心に古河電気工業、フジクラ、住友電気工業、北日本電線など、電線メーカーをはじめとする10社が参加している。